

# 環境共生課

環境共生保全費	115
オフセット・クレジット推進事業費	116
清流保全推進事業費	117
四万十川総合対策費	119
希少動植物保護対策事業費	120
自然公園等施設整備事業費	122
自然公園等管理費	123
牧野植物園管理運営費	124
豊かな環境づくり総合支援事業費	125
公園施設等災害復旧事業費	127
自然保護基金管理費（特別会計）	128

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	3,591	3,591	3,214			3,214

## 1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

## 2 内容

(1) 環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (549千円 (一)549千円)

・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業の実施に先立ち、環境影響評価(アセスメント)の審査会を開催

(2) 環境共生保全事務費 (2,665千円 (一)2,665千円)

・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	22,145	18,837	20,751	—	(諸) 8,496	12,255

1 目的

地球温暖化対策を推進するために、森林の機能や資源をJ-クレジット制度等によって「見える化」、「証券化」し販売することで、森林整備や雇用の創出など新しい森林ビジネスを構築し、地域産業の振興を図る。また、県産材を用いた木造建築物や木製品のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。

2 内容

(1) 高知県版 J-クレジット制度等運営事業費 (11,682 千円 (－) 11,682 千円)

県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。

委託事業：オフセット・クレジット認証センター運営等委託料

委託先：一般社団法人高知県山林協会(随意契約)

(2) CO2 木づかい運動推進事業費 (98 千円 (－) 98 千円)

CO2 木づかい固定量認証専門委員会を開催し認証について審査を行い、県産材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品の CO2 固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。固定量の算出認証事務は (1) の委託で実施。

(3) オフセット・クレジット販売促進等事業費 (8,971千円 (－) 475千円 (諸) 8,496千円)

県有林を活用した森林吸収プロジェクトによるCO2吸収量の検証・認証を受け、クレジット化を行うとともに、排出削減・森林吸収クレジットの販売促進を図るため、都市部でのエコプロダクツ等に参加するなど企業等に対して積極的に営業を行い、販売に対する体制を強化する。また、J-クレジット制度全国説明会に参加し、情報収集に努めるとともに低炭素社会のトッププランナーとしての役割を果たす。

委託事業：オフセット・クレジット市場拡大事業委託料

委託先：オフセットプロバイダー(随意契約)

3 平成26年度までに実施した主な事業の実績 (平成27年 3月31日現在)

(1) オフセット・クレジットの発行

- ・木質資源エネルギー活用事業 20,257 t-CO2

(H20:899t-CO2, H21:1,932t-CO2, H22:3,089t-CO2, H23:2,534t-CO2, H24:5,400t-CO2, H25:6,403t-CO2)

- ・森林吸収量取引プロジェクト 2,305t-CO2(うちバッファー 68t-CO2) (H22:285t-CO2, H25:2,020t-CO2)

(2) 売却状況

- ・219件 売却済み 8,855t-CO2

(H20:899t-CO2, H21:1,742t-CO2, H22:1,743t-CO2, H23:1,658t-CO2, H24:591t-CO2, H25:1,744t-CO2, H26:478 t-CO2)

(3) 高知県J-VERプロジェクト 登録・認証・発行状況

- ・11件登録、16件認証、16件発行

(4) 高知県版J-クレジットプロジェクト登録

- ・12件登録(高知県J-VERプロジェクトからの移行11件、新規プロジェクト登録1件)

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	2,862	2,862	1,446		(入) 649	797

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、清流の保全・再生を図る。

また、企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

2 内容

(1) 物部川清流保全計画・第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

・清流保全条例推進事業費 (513千円 (一)513千円)

- ①物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員等報償費 300千円
- ②事務費(旅費、使用料及び賃借料) 213千円

(2) 清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

・清流保全計画指標モニタリング事業費 (649千円 (入)649千円)

- ①事務費(需用費) 649千円

(3) 協働の川づくり事業

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

・協働の川づくり事業費 (284千円 (一)284千円)

- ①事務費(需用費) 284千円

3 平成26年度に実施した主な事業の実績

(1) 物部川清流保全推進協議会の取組

- ・代かき時期における濁水対策の実施
- ・一斉清掃の実施
- ・清流保全活動の普及啓発等

(2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組

- ・ 仁淀川一斉清掃の実施
- ・ 仁淀川シンポジウムの開催等

(3) 協働の川づくり事業

- ・ 協働の川パートナーズ協定に伴う寄付……11件  
(内訳 高知食糧株式会社 10件、アサヒビール株式会社 1件)

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	13,024	13,024	12,444		(入) 473	11,971

## 1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体及び住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である四万十川財団の事業を支援する。

## 2 内容

- (1) 流域市町と連携した生活文化財産の保全に向けての取組（重要文化的景観を活用した流域の振興）
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組（四万十くろそん会議、大正なかつか会議 他）

- ・ 四万十川流域保全振興委員会費（252千円（一）252千円）  
（委員報酬）
- ・ 重点地域等管理費（2,611千円（一）2,611千円）
  - ① 四万十川流域保全振興委員会運営等委託料 714千円  
契約方法：見積競争  
委託先：コンサルタント等
  - ② 事務費 1,897千円  
（報償費、旅費、需用費等）
- ・ 清流基準モニタリング事業費（旅費、需用費）（473千円（入）473千円）

- (3) 四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援

- ・ 四万十川財団活動推進事業費（8,984千円（一）8,984千円）  
（四万十川財団運営費補助金）
- ・ 事務費（124千円（一）124千円）  
（報償費、需用費等）

## 3 平成26年度に実施した主な事業の実績

- (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川すみずみツーリズム連絡会等との連携による流域の振興を図る取組
- (2) 四万十くろそん会議、大正なかつか会議の運営による住民協働の流域振興を図る取組
- (3) 重点地域における四万十川条例許可制度の運用

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	26,421	26,421	23,826		(入)9,145	14,681

## 1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

## 2 主な内容

### (1) 保護対策事業費（10,935千円（一）10,935千円）

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討や対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

#### ① レッドデータブック改訂委託料（10,653千円（一）10,653千円）

内容：高知県レッドリスト及びレッドデータブックの動物編の改訂のため、野生動物の実態調査や各分科会のとりのまとめ等の業務を委託する。

委託先：県内コンサルタント業者

契約方法：指名競争入札

### (2) 希少野生植物食害対策事業費（9,145千円（入）9,145千円）

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

#### ① 調査業務委託料（2,960千円（入）2,960千円）

内容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画を作成する。

委託先：（公財）高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

#### ② 防護柵設置業務委託料（1,163千円（入）1,163千円）

内容：防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を行う。

委託先：県内森林組合

契約方法：随意契約

#### ③ モニタリング調査業務委託料（5,022千円（入）5,022千円）

内容：平成26年度までに設置した防護柵の効果を把握するため、モニタリングやヒアリングを実施する。

委託先：（株）西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

## (3) 生物多様性地域戦略推進事業費 ( 3,746千円 (一) 3,746千円 )

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

## ① 生物多様性地域戦略普及啓発事業委託料 (2,290千円 (一) 2,290千円)

内 容：県民の理解度を高めるため、生物多様性と暮らしに関する先進事例について広報誌等を通じて発信する広報事業を委託する。

委託先：民間企業

契約方法：随意契約（プロポーザル方式）

## 3 平成26年度に実施した主な事業の実績

## (1) 希少野生植物の保全及び外来生物対策

県内の希少野生動植物等の保護対策及び特定外来生物等の拡大防止対策を実施。

- ・ 希少野生植物（スナジマメ）の保全
- ・ 特定外来生物（セアカゴケグモ）の調査及び駆除、外来生物に関する普及啓発

## (2) 希少野生植物の食害対策

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等を実施。

- ・ 調査箇所：8地点10箇所
- ・ 防護ネットの設置：3箇所 380m延長
- ・ 既設ネットのモニタリング：全箇所（33箇所）点検、モニタリング24／33箇所

## (3) 生物多様性地域戦略の普及啓発

平成25年度に策定した「生物多様性こうち戦略」を広く一般に周知するため、啓発事業を実施。

- ・ ふるさとのいのちをつなぐ「生物多様性こうち戦略」キックオフフォーラムの開催：1回
- ・ 守る自然、活かす恵み～生物多様性こうち戦略～ワークショップの開催：10回
- ・ 「さがそう、身近な生物多様性」フォトコンテスト写真展の実施：3回
- ・ ロゴ、普及啓発パネル、ハンドブック等資料の作成



事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	31,643	31,643	17,241	5,430		11,811

## 1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を修繕し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

## 2 内容

(1)施設改修工事等の実施（17,241千円（国）5,430千円（一）11,811千円）

- ・天狗高原へのみち遊歩道等改修工事
- ・四国のみち看板改修等工事
- ・天狗園地遊歩道等修繕工事
- ・見残園地展望台手摺改築工事 他

## 3 平成26年度に実施した主な事業の実績

- (1) 天狗高原へのみち遊歩道等改修工事
- (2) 四国のみち看板改修等工事
- (3) 月見山こどもの森遊具設置等工事
- (4) 地芳公衆トイレ撤去工事

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	14,038	14,038	14,465		(諸) 3,961 (使) 9	10,495

## 1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

## 2 内容

(1) 自然公園管理費 (743千円 (一)734千円 (使)9千円)

・現地調査等に要する活動旅費等

(2) 県立こどもの森管理運営費 (8,388千円 (一)4,427千円 (諸)3,961千円)

① 月見山こどもの森管理運営委託料 (8,331千円 (一)4,370千円 (諸)3,961千円)

内 容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指 定期間：H27. 4. 1～H30. 3. 31 (3年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

② その他事務費 (57千円 (一)57千円)

(3) 四国のみち管理費 (5,214千円 (一)5,214千円)

・四国のみち管理委託料 (5,214千円 (一)5,214千円)

内 容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委 託 先：18市町村、高知市森林組合、野根山街道保存協議会

路 線 数：36ルート(延長411.0km)

(4) 自然公園指導員活動強化事業費 (120千円 (一)120千円)

・自然公園指導員の活動にかかる経費

## 3 平成26年度に実施した主な事業の実績

(1) 県立月見山こどもの森の管理運営委託

① 年間利用者数17,103人(H26.3月末)

② 道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

③ 地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

(2) 四国のみち管理委託

① 36ルート、411.3kmの草刈り等

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	354,716	354,716	352,074		(使) 185	350,889

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供する。

2 内容（平成27年度）

(1) 牧野植物園管理等委託料（351,106千円（一）350,921千円（使）185千円）

内 容：県立牧野植物園の指定管理者による管理代行料

指定期間：H.23.4.1～H28.3.31（5年間）

指定管理者：（公財）高知県牧野記念財団

イベント等の開催

①スプリングフラワーフェスタ Spring has come! 春のよろこび

（平成27年3月7日から5月24日まで）

②恐竜時代の植物たち（平成27年8月1日から平成28年1月11日まで）

③第10回ラン展（平成28年2月6日から2月28日まで）ほか

(2) 運営費（968千円（一）968千円）

指定管理者事業評価委員会等運営費

3 平成26年度に実施した主な事業の実績

(1) 牧野植物園入園者数 137,111人（平成27年3月末時点）

(2) イベント等の開催

①五台山花絵巻（五ノ巻 春）（66日間 47,509人）

②五台山花絵巻（秋）（46日間 29,220人）

③第9回ラン展（23日間 10,844人）ほか

(3) 機器修繕の実施

牧野富太郎記念館本館 「五台山見どころ自慢」映像機器修繕

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	6,142	6,142	6,127			6,127

1 目的

高知県環境基本計画第三次計画の目指す3つの社会づくりを実現するために、NPOや任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川の環境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（6,000千円（一）6,000千円）

「高知県環境基本計画第三次計画」（平成23年4月策定）において示す5つの対象分野（以下のとおり）の県内で実施される事業であり、3つの社会づくり（低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり）を目指す取組に対して補助金を交付する。

○補助対象事業：次に掲げる5分野に資すると認められるハード事業及びソフト事業

- ・地球温暖化への対策
- ・循環型社会への取組
- ・自然環境を守る取組
- ・環境ビジネスの振興
- ・環境学習の推進とネットワークづくり

○補助先：NPO等

○補助率：定額（1団体当たりの補助金の範囲が500千円以下）

(2) 事務費 127千円（（一）127千円）

3 平成26年度に実施した主な事業の実績

○事業件数：10件

（市町村等）※平成27年度からは補助対象外

- ・馬路村（1,500千円：安田川環境保全事業）

安田川の再生プランの一環として、「近自然工法」により河川の再生を行うことにより、瀬・淵の創出、魚の休み場・産卵場の確保を図る。

- ・四万十町（1,078千円：代かき濁水対策普及促進事業）

農業濁水による河川の水質に与える影響が問題となっている四万十町において、農地からの濁水流出負荷を低減するため、農業・事業者等の清流保全意識を高めるとともに、田植え前の代かきによる濁水抑制（浅水代かきの推進及び止水板を利用した啓発）に取り組む。

(NPO等)

- ・『地球村』高知（295千円：環境教育プログラムの開発と実践～小学校における環境教育～）  
私立高知小学校において、循環の仕組みと環境への負荷を軽減する方法について理解を深めるため、生ゴミダンボールコンポストを活用した緑化学習を実施。
- ・特定非営利活動法人元気おおとよ（188千円：吉野川流域の環境保全と地域資源の活用）  
吉野川を地域の重要な資源として発展させるために、住民と共に、河川・自然との共存を学び、河川の支障木の伐採整備等を行う。
- ・研究会はたのおと（500千円：小さな自然再生：手づくり魚道で生態ネットワークを回復）  
地域住民による小さな自然再生として、手づくり魚道を三崎川に設置し生態ネットワークを回復すること、その効果を皆でモニタリングするしくみをつくること、結果を地域で公表できる研究発表会を継続開催することを目的に行う。

ほか

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	

1 目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災または破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2 平成26年度に実施した主な事業の実績

対象となった災害なし

事業名	平成26年度	平成26年度	平成27年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,277	1,277	1,379		(財) 313 (越) 1,066	
<p>1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。</p> <p>2 内容 県が取得した土地の維持管理を行う。</p> <p>3 平成26年度に実施した主な事業の実績 県有地内において管理の支障となっている支障木の伐採を実施</p>						